

謹賀新年

# 議会 行政

Assembly

Administration

総社市議会議員  
服部剛司



市民の皆様方には、平成18年の新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年3月には、総社市・清音村・山手村が合併し、新総社市が誕生いたしました。この合併にあたりましては、合併協議会委員をはじめ、関係各位にたいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

合併後の総社市では、合併協議のなかで議論された多くの課題が山積しております。合わせて、三位一体改革により、地方を取り巻く財政状況は、たいへん厳しい状況になっております。

そのような状況の下、今年は、今後のまちづくりの指針となる総合計画の策定が計画されております。この総合計画に基づき、合併協定書に盛り込まれているさまざまな事業を進めていかなければなりません。私ども市議会といたしましても、市民の皆様の声をお聴きしながら、「合併してよかった」といわれる総社市を築いていくために、決意を新たに取り組む所存であります。

今後とも、何卒変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

総社市長  
竹内洋二



希望に満ちた平成18年の新春を、ご家族お揃いでお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、3月に総社市・山手村・清音村が合併し、新「総社市」が産声をあげた記念の年となりました。また、晴れの国おかやま国体や全国障害者スポーツ大会の開催にあたりましては、多くの方々の参加と支えをいただきました。東総社中原線の全線開通、総社駅前広場の完成など、広域交通網が整備され、鬼ノ城ビジターセンターがオープンするなど、好評の国民宿舎「サンロード吉備路」と合わせ、吉備路観光の拠点性も高まった年でもあります。さらに倉敷ケーブルテレビとの災害緊急放送の協定を締結、まちづくり協議会が設置されるなど安全で質の高い市民生活を充実するべく施策を進めてまいりました。

本年も合併が意義あるものとなるように、それぞれの地域の個性・特色を活かしつつ、本物志向のまちづくりを進めるべく全力で取り組んでまいり所存です。

本年が、皆様にとって素晴らしい年となりますことを心からお祈りいたしまして、年頭に当たってのごあいさつといたします。

# 新市の青写真を描く

ただ今、第一次総社市総合計画策定中

昨年3月22日、総社市、山手村、清音村の3市村が合併し、新・総社市が誕生しました。これからは、合併によるスケールメリットを最大限に生かして、新しく誕生した総社市の市民一人ひとりが、「住んでよかった」、「住み続けたい」と真に実感のできるまちづくりを進めていくことが重要です。今後、ますます高度化・多様化する皆さんのニーズに対応しながら、中長期的な視野に立つた、計画的・安定的な行政運営を進めていくとともに、市民本位の施策や事業を展開していく必要があると考えています。

そのために、今後のまちづくりの指針となる新市最初の「総合計画」を策定します。これは、平成18年度から27年度までの10年間の長期計画。計画策定にあたっては、一人でも多くの皆さんの意見を可能な限り計画に反映させるために、アンケート調査のほか、各種の懇談会を行いました。ここでは総合計画策定の途中経過を皆さんにお知らせします。